

全国交流集会2011 in みやぎ

どうする復旧・復興!

復旧・復興の主人公は被災者 原発事故の早期収束と被害の全面補償を

2011年
10月8日(土)~10日(祝)

- 交流集会: 8日(土)~9日(日)
- オプション: 9日(日)~10日(月・祝)

参加の呼びかけ

東日本大震災は、広範な地方・地域に甚大な被害をもたらしました。そして、東京電力福島原発も爆発する大事故が発生しました。被災地では、これからが本格的な復興に向けた取り組みが行われます。また、原発事故によって避難を余儀なくされている住民への支援も大事な課題となっています。復興は、住民(被災者)本位で進められなければなりません。復興に向けた運動の交流の場として全国交流集会を開催します。

被災地の、岩手・宮城・福島は、甚大な被害となりました。しかし、長野でも茨城でも千葉でも地震災害の地域があります。今回の交流集会は、このような被災地で支援活動をされている皆さんにも参加を呼びかけます。

同時に、これまで災害被害への支援活動をされてきた兵庫や新潟、石川などの皆さんにも、また広く関心を持たれている皆さんにも開かれた全国交流集会として準備しています。多くの方々のご参加を心から呼びかけます。

この間、救援ボランティアで被災地に参加された方から、「同窓会」の開催も要望され、特別に同窓会の開催も準備しています。

会 場 宮城県鳴子温泉「農民の家」
〒989-6824 宮城県大崎市鳴子温泉河原湯 5-6 ●TEL: 0229-82-2121 ●FAX: 0229-82-2031

主催: 復旧・復興全国交流集会 2011 in みやぎ実行委員会

〈連絡先〉 〒113-8462

東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4階 全労連気付

TEL: 03 (5842) 5611 FAX: 03 (5842) 5620

E-mail: saigai-shien-kaizen@zenkoku-saitairen.jp

実行委員会の構成

- 全国災対連(略称)
- 東日本大震災救援・復興岩手県民会議
- 東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター
- 宮城災対連(略称)
- 東日本大震災・原発被害者の救援・復興をめざす福島県共同センター

会場・交通案内

<会場>

宮城県鳴子温泉「農民の家」

<交通案内>

東北新幹線 古川駅 → 陸羽東線 鳴子温泉駅 徒歩5分

※古川駅より送迎用マイクロバス(25人)「農民の家」

直行便2便を配置します。

・午前11時30分 古川駅発

・午前12時 //

参加資料・宿泊費

●宿泊費/10,000円 1泊3食(夕・朝・昼)及び懇親会費含む

●参加資料代/3,000円

参加申込みと締め切り

<参加申込み>

参加申込み用紙に必要な項目に記入の上、全国災対連事務局にFAX・メールでお申し込み下さい。被災3県の実行委員会構成組織にも申込みはできます。



交流集会の日程

<第1日・8日(土)>

13:00 開会(全体集会)

主催者代表あいさつ

地元歓迎あいさつ

政党からの激励挨拶・メッセージ紹介

協賛・後援の紹介

記念講演

「東日本大震災からの復旧・復興の課題と展望—人間の復興と暮らしの復興をめざして」(仮)

宮入 興一さん 愛知大学経済学部教授

被災地の現状と課題(仮称)

岩手県民会議

みやぎ県民センター

福島県共同センター

質疑応答

休憩・移動

分科会開始

18:00

休会

夕食懇親会

<第2日・9日(日)>

朝食

8:30

分科会再開

11:40

(全体集会)再開

分科会の報告

まとめと閉会あいさつ

13:00

終了

昼食(いも煮とおむすび)

地元物産展・産直展

14:00

オプション開始



宮入 興一さん

愛知大学経済学部教授

被災地の現状を見る視察ツアー

被災から7カ月。宮城県第2の市・石巻を中心に地震と津波によって大被害を受けた海岸線をガイド付きでマイクロバスで1泊2日案内します。未だ進まない復旧と復興の現実。とくに津波被害の異様な実態は、写真だけではわかりません。被災地に足を踏み入れたことのない方には、必ず行っていただきたいと実行委員会は願っています。事前申し込みが必要です。また、定員制です。宿泊のみの参加も受け付けます。

実施日程 10月9日(日) 午後2時予定～
10日(月・祝) 正午

視察コース 「農民の家」発 → 石巻 → 東松島
→ 松島(宿泊) → 多賀城 →
仙台駅解散

定員制 25人の申込みになり次第締め切ります。

参加宿泊費 14,500円(宿泊2食含む)

案内 宮城のメンバーがガイドします。
参加申込書に記入の上申込み下さい。

※自家用車等で参加された方で、宿泊のみ希望される方には相談に応じます。

分科会案内

※参加希望者数によっては締め切り後に分科会の再編・分割もありえますので御了承下さい。

第1分科会

被災者の生活再建をめざして

～生活再建支援法の抜本改善を～

多くの被災者は、避難所生活から応急仮設住宅や民間賃貸住宅などで生活しています。そこで抱えている課題と今後の生活再建に向けた課題をいかに解決するのか。その方向性を、交流を通じて明らかにします。

第2分科会

生産者・利用者本位の第一次産業（漁業・農業・林業）の再生を

致命的な打撃を受けた漁業・農業・林業などの第一次産業。漁民や水産関係の事業者、農民や関連事業の再建を、生産者・利用者の目線から交流し、進んだ経験をお互いに学びます。

第3分科会

子ども、地域に寄り添った教育の復興を

被災地の学校は、地震と津波被害で甚大な被害。加えて、生徒や学生は違う学校へ移動して学んでいます。仮設住宅に避難生活している環境で教育現場も課題が山積。このような局面で教師と教育行政に何が求められているか、を交流します。

第4分科会

防災に強く住民に安心な自治体の再生を

「構造改革」路線によって、本来自治体が果たすべき住民の安心・安全がもろくも崩されました。災害に強く住民目線で自治体の再生をいかに進めるか、これからの自治体建設を大いに交流します。

第5分科会

液状化災害からの救済と住宅・地盤の強化をどうはかる

被災3県だけでなく、首都圏も液状化被害を受けました。液状化被害の地盤をいかに再生させられるのか。住宅災害の補償や再建に向けた取り組みはどのように進めるのか、各地の取り組みを交流します。

第6分科会

放射能汚染から暮らしと健康を守る

東京電力福島第一原発はレベル7の最悪事故を起こし、いまだ収束のメドがたっていません。「思いっきり外で遊びたい」、「いつになったら家に帰れるのか」と悲惨な声が上がっています。汚染から命と健康をどう守るかを互いに交流します。

第7分科会

放射能被害の全面賠償を勝ち取る

放射能汚染は、人間だけでなく家畜や田畑、海産物の広大な自然にまで及んでいます。すべての放射能被害に東京電力が賠償するのは当然です。では、どのように賠償運動に取り組んでいるのか。その取り組みと前進面を交流します。

第8分科会

被災地での安心・安全な雇用の実現を

被災地の雇用は悪化しています。大企業は被災を理由に解雇問題も起きています。被災者でもあり労働者でもある仲間の雇用を創出する取り組みは。労働者の権利と雇用を守る取り組みの前進を互いに学びあいます。

第9分科会

被災地で地域住民が安心できる医療・介護・保育の拡充をめざす

生活する上で欠かせない医療・介護・保育分野。被災地で住民の暮らしを支えるこの分野の再生に向けて、各地で再建の取り組みが徐々に進んでいます。早期の拡充に向けた取り組みを互いに交流します。

第10分科会

被災地の地域経済の復興と中小零細企業支援を

大津波被害は、すべての家屋や店をなぎ倒しました。そして残ったのは、ローンや借金。地域経済と町を形成する中小零細企業の再生に向けた支援をどのように取り組むかを交流します。

特別分科会（自主企画）

救援ボランティア同窓会

全国災対連のルートで東日本大震災の救援ボランティアに駆け付けた1万人余の仲間たち。これまでのボランティア活動で何が見えたか。そしてこれからどんな支援が出来るのか、被災者の立場に立って交流します。





食べて支援・買って支援 秋の物産展

開店時間：10月9日 午後1時～
テント村：『農民の家』前 広場

食欲の秋、この時期東北の味を堪能下さい。農民の皆さんが大切に作った野菜や果物がテントに並びます。そして、地元鳴子温泉の工艺品の“こけし”も有名。『農民の家』前にテントが張られ、交流集会参加の皆さんを歓迎します。



ゆった〜り 農民の家

『農民の家』は、全国的にも素晴らしい源泉のオンパレード。かけ流し温泉の源泉は4種類もあります。

- ・**硫黄泉**は、乳白色の濃い温泉。温かさが続きます。長湯は禁物です。
- ・**やすらぎの湯**は、乳白色のあっさりした温泉です。湯上りはさっぱり感があります。

- ・**檜の湯**は、乳白色の温泉で、湯の花がやや黒いです。季節によって湯の色が変わることがあります。湯上りはすべすべ感があります。
- ・**炭酸泉**は、全国でも数少ない温泉です。無色透明の27.8Cのひんやりした湯。ゆっくりとつかると皮膚に気泡が付き、炭酸効果で体の中から温かくなります。



☆『農民の家』 宿泊上の注意

- ・宿泊者には、浴衣・バスタオル・タオル・歯ブラシの提供がありますが、それ以外は宿泊者が準備願います。
- ・飲み物等は、売店で販売しておりますのでご利用下さい。

参加申込み用紙

団体名 団体住所		団体 TEL FAX						
参加者代表 お名前		携帯番号 携帯メール						
	参加者お名前		参加日程 参加する日に○をつけてください		分科会 番号	宿泊希望 喫煙・禁煙	備 考	
1		男	交流集会	10/8	10/9		宿泊希望	
		女	オプションツアー	10/9	10/10		喫煙・禁煙	
2		男	交流集会	10/8	10/9		宿泊希望	
		女	オプションツアー	10/9	10/10		喫煙・禁煙	
3		男	交流集会	10/8	10/9		宿泊希望	
		女	オプションツアー	10/9	10/10		喫煙・禁煙	
4		男	交流集会	10/8	10/9		宿泊希望	
		女	オプションツアー	10/9	10/10		喫煙・禁煙	
5		男	交流集会	10/8	10/9		宿泊希望	
		女	オプションツアー	10/9	10/10		喫煙・禁煙	
6		男	交流集会	10/8	10/9		宿泊希望	
		女	オプションツアー	10/9	10/10		喫煙・禁煙	

※申込み欄がたりない場合は、コピーして下さい。 ※FAX・メールアドレスは、1面にあります。